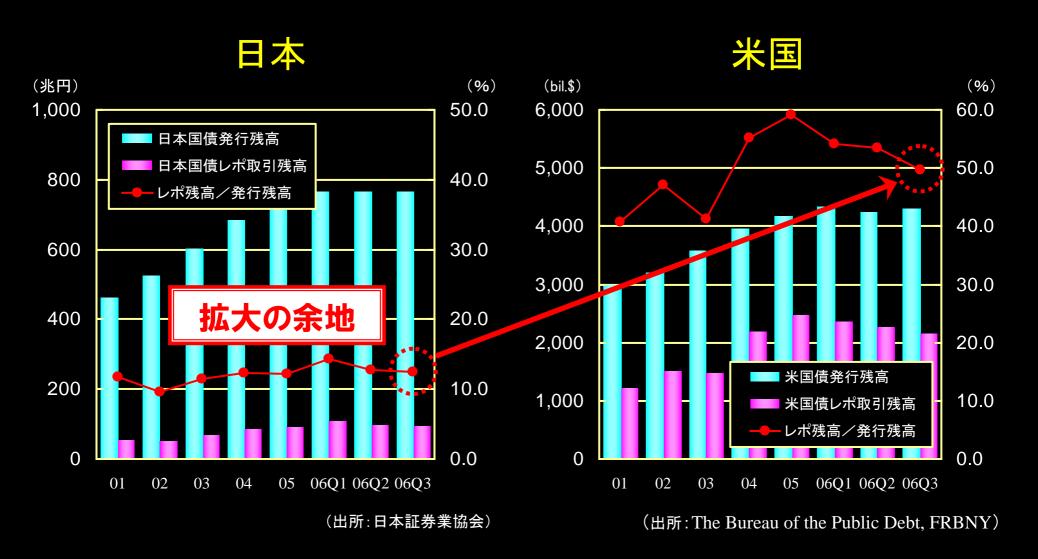


短期金融市場に関する問題意識~レポ市場拡大のために~

2007年3月1日 野村證券株式会社 執行役 金融市場本部担当 中村 善二

レポ市場の規模(日米比較)





本資料は日本銀行における短期金融市場フォーラムの参考資料とすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。なお、使用するデータ及び表現等の欠落・誤謬等につきましてはそ の責を負いかねますのでご了承下さい。この資料のいかなる部分も一切の権利は野村證券に属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等はできません。

問題意識



- 1 短期国債のレポ取引
- ② ターム物のレポ取引
- ③ 現先取引

問題意識① 短期国債のレポ取引 NOMURA

短期国債のSCレポ取引が未発達な原因

- ✓ショートしづらい
- ✓ 事務負担の抑制→オペへの依存→出し手の不在

歪んだ価格形成

SCレポ取引の拡大

流動性の向上・価格形成の効率化

問題意識② ターム物のレポ取引

NOMURA

ターム物GCレポ取引拡大のメリット

- ✓ 資金調達の効率化
- ✓より有利な運用機会の追求
- ✓ 新たな参照金利の形成



裁定機会の増加

⇒ 新たな流動性やリスク・リターンの供給

問題意識③ 現先取引



現先取引の有利性

- ✓ 多様な取引手法
- ✓リスク管理の充実
- ✓ グローバル・スタンダード
- ✓取引対象の拡大(一般債、ローン等)



最後に